

この夏は、版画に浸る。

線の迷宮・番外編

響きあい、連鎖するイメージの詩情 — 70年代の版画集を中心に

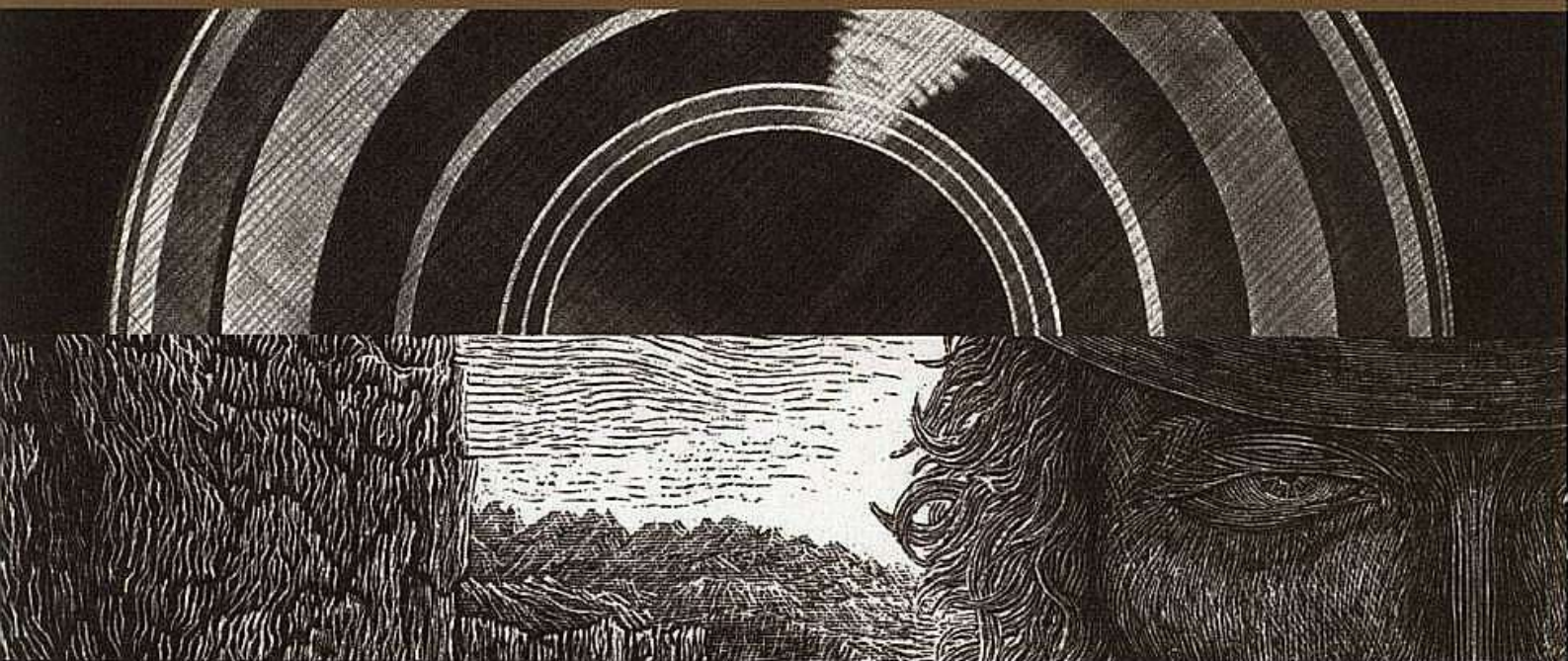
2009年8月1日(土) — 9月27日(日)

午前10時～午後6時(入館は5時30分まで)

月曜休館(9月21日は開館)

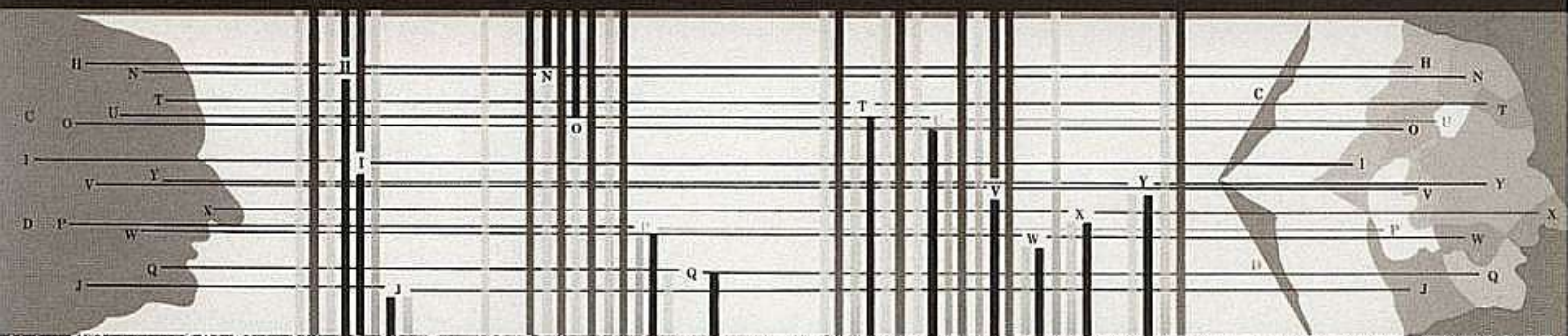
観覧料: 一般600(450)円、大高校生450(350)円、小中生無料
()内は20名以上の団体料金、障がい者とその付添者1名は半額

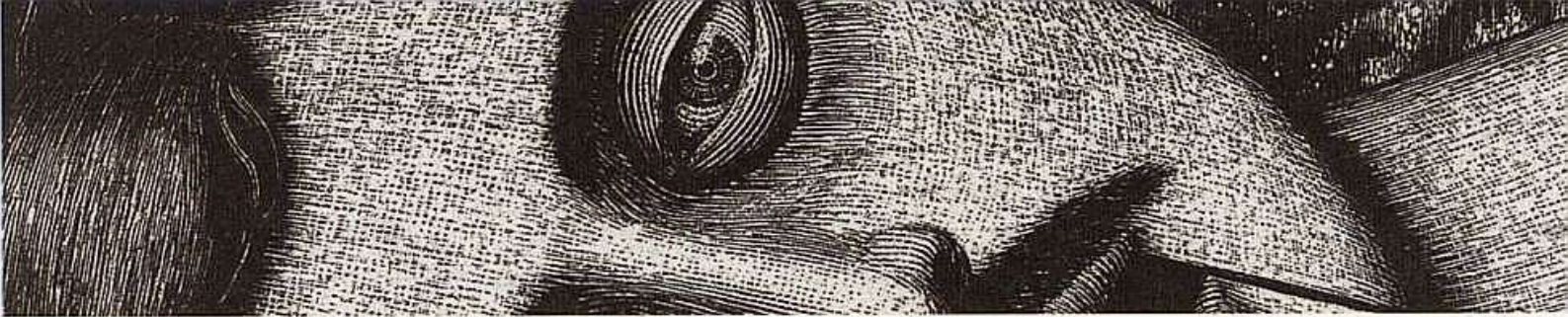
主催: (財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館



目黒区美術館 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 03-3714-1201 <http://www.mmat.jp>

図版上から 島島由己男 版画集「わらべ唄」[コマと太郎] 1972(部分)/橋澤寛 (肖像シリーズ)「肖像X ヘルキュレス・セーヘルズ」1983(部分)/宇佐美圭司 ボードフォリオ「顔」[Process VI-I] 1973-1974(部分)/日和崎舞夫 詩画集「顔」1970(部分)



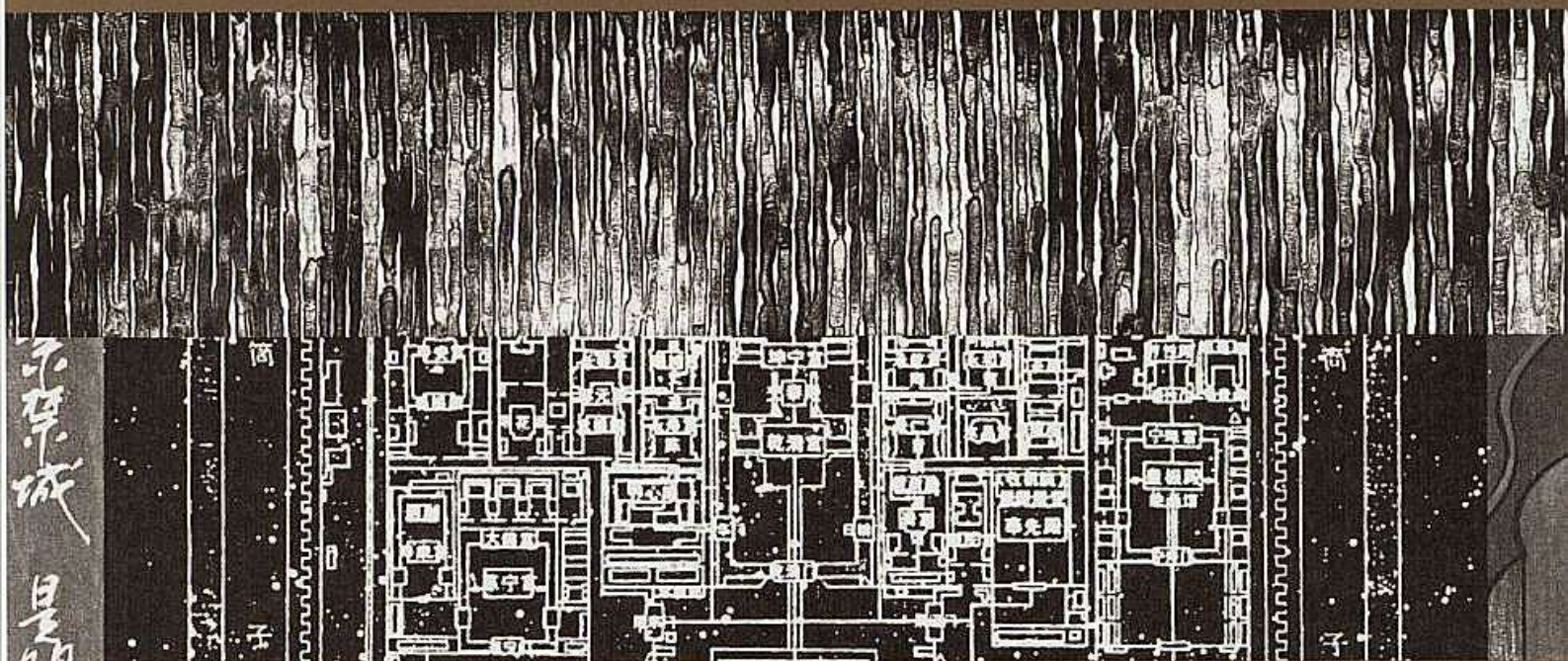


線の迷宮・番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情 — 70年代の版画集を中心に

2009年8月1日(土) - 9月27日(日)

【展覧会】1960年代の後半から80年代前半にかけて盛んに制作、発行された詩画集、ポर्टフォリオなど、約40タイトルの版画集(目黒区美術館所蔵)を展示します(一部展示替えあり)。そのほか、版画の工程見本、目の休憩: 小さな鉱物展示もあります。

【ワークショップ】A. 版画の宝石-本格派・木口木版画(柄澤齊) B. 銅版画教室“今、そこにある道具!”を使ってつくる(高浜利也) C. 版が刷られる仕組み-版画工房から・実演とお話(加山智章) そのほかこどものコース、ファミリーコース、担当学芸員によるお話会など。詳細は HPか、お問い合わせ下さい。



目黒区美術館

電車: 目黒駅(JR山手線、東急目黒線、東京メトロ南北線、都営三田線)下車、徒歩10分
中目黒駅(東急東横線、東京メトロ日比谷線)下車徒歩20分
バス: 権之助坂(目黒通り)下車徒歩5分、田道小学校入口(山手通り)下車徒歩3分
目黒区美術館は、目黒区民センターの敷地内にあります。

この夏、もう一つの版画展。

解剖図や図鑑からアートまで、
好奇心を刺激する多様な版画
で作る「驚異の部屋」へぜひ!



驚異の部屋へようこそ!展

2009年8月8日(土) - 9月23日(水・祝)

月曜休館(21日、22日、23日は開館)

火-金10時-17時、土日祝10時-17時30分(入場は30分前まで)

町田市立国際版画美術館 東京都町田市町田4-28-1 042-726-2771

図強上から 柄澤齊(再像シリーズ)「再像 V. マルセル・ブルースト」1983(部分) / 李禹煥 石版刷集「点より線より」(線より2) 1977(部分) / 黒崎彰「中国」(放宮星明) 1980(部分) / 若林高「命白の発熱」1973(部分)

